

目 標	細 目 標	振 り 返 り
1. 教育課程の計画・実施・評価ができる。	1) 単位認定までの過程が確実かつ公正に行える。	学則に則り、単位認定までの過程を確実かつ公正に行えた。 2020年度よりシラバスの様式を変更した。評価基準をシラバスに公表することで、より学生にわかりやすく公平性のある単位認定を行いたい。
	2) 単位の互換を適性に行うことができる。	放送大学等に進学されている卒業生からの申請があり、単位の互換を適正に行うことができた。
	3) 学生にボランティアへの参加を促す。	尾道市で開催された寝たきりになら連、広島市でのリレー・フォー・ライフ・ジャパン等の社会貢献活動に該当学年の学生が参加した。今後も学生に対してボランティアの情報提供を行い、地域社会への参加を促していきたい。今後に向けて看護教育活動を通して社会貢献ができることを考えていきたい。
	4) 教育効果が高い講義を実施できる。	学生に対して効果的な教育活動を行うために、以下の取り組みを行い、教員および外部講師、臨地実習指導者との連絡調整を行った。 ＜講師会議＞ 国家試験についての出題傾向等の説明を行い、国家試験を視野に入れた講義の協力を依頼した。 ＜授業評価＞専任教員の担当している専門領域、統合分野の授業評価を実施し、教員のコメントを明示して学生にフィードバックした。 ＜実習における評価方法の見直し＞ 実習調整者を中心にルーブリック評価の導入を計画的に進めることができた。今後に向けて、領域別実習でもルーブリックを活用して、学生がわかりやすい指標となり効果的な実習となるための支援を行っていきたい。
	5) 看護師国家試験の合格率が100%達成できる。	国家試験の合格率は、全国：合格率は89.2%(昨年89.2%)、新卒者94.7%(昨年と同様)、本校は100%で(昨年97.5%)あり、既卒者1名も合格することができた。3年生は模擬試験ではクラス偏差値が50以上あった。しかし、1・2年生は50を下回り、個人的には44以下の学生もいた。今後に向けて、国家試験の学習以前の課題があるため、授業に集中できる学習環境を整え、ルーブリックを活用した参加型の授業を行う。又、テスト後の見直しを行い、間違った所をそのままにせず、暗記型学習から知識の引き出しを増やせる学習につなげる。
	6) 学習の質が維持できるような科目配列を計画できる。	基本的には各講師の協力のもとに、計画的に科目を配列し、実施できたが、今年度は外部講師に講義変更が伝わっておらず、講義の調整が必要となった。講義変更等は慎重に行い、学生課への連絡を確実にし、学生の学びに影響がないようにしていく。年度末には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、自己研修等の対応を行った。終息の目途がたたないため、長期化することも考慮して、学生の安全を守り、学習環境が整えられるようにしていきたい。

	7) 留年者・卒業延期者が5名以下になる。	<p><留年者・卒業延期者></p> <p>留年者は6名であり、5名以下とはならなかった。これらの学生に対しては学習方法の見直しを中心とした学習支援が必要となる。退学者が総計10名となり、それぞれの背景は異なるが進路変更のための退学であった。今後に向けて、青年期はアイデンティティの確立の時期であるため、迷う時期ではあるが担任や実習担当とも協力し、学校継続ができるように支援していきたい。</p>
2. 学習教材を整える。	1) 標本やDVDの活用の推進をする。	<p>今年度は実習室の枕・掛け物を新規購入することができた。又、実習室の給湯器の設置、洗髪車の点検および修理を行った。学生の技術練習が効果的に行えるように学習教材を整えることができた。又、年度末には机・椅子の更新を行うことができた。今後、教室の学習環境が整うことで、学生の学習意欲や集中力の向上につながることを期待する。</p>
	2) 実習室の教材を補充する。	
3. 学習の支援体制が整えられる。	1) 教職員と報告・連絡・相談を密にする。	<p>日々の報告・連絡・相談とともに、定期的な教員会議により、教員間の連絡調整（講義・実習方法、学生の状況等）を行い、教育の実施・評価を行った。又、学生課の職員とも連絡調整を図り、副学校長との連絡調整を行った。今後も継続していく。</p>
	2) クラス運営における教員連携の見直しをする。	
4. 教員の相互研鑽ができる。	1) 授業案・教育方法など、情報交換ができる。	<p><授業に関して相互研鑽をおこなう機会の提供></p> <p>他の教員の講義への参加、参加後のリフレクションは自主的参加としたためか、講義への参加を計画的に行うことは難しかった。今後に向けて、計画的な参加を促したい。</p> <p><研修会への参加></p> <p>今年度は、2022年以降の新カリキュラムの改正に向けて、全教員の研修会の参加を行い、定期的な新カリキュラム検討会を行った。今後に向けて、3つのポリシーが明確になったらグループ毎に、教育内容のまとまりを検討していきたい。</p>
	2) 研修会へ参加することができる。	